

## 令和6年度 第1回 尼崎市社会教育委員会議 議事要旨

### 1 社会教育委員会議概要

#### (1) 日時

令和6年11月18日(月) 午後3時00分～午後4時55分

#### (2) 出席委員数

10名

#### (3) 協議事項等

- ア 社会教育施策に係る施策評価について
- イ 第2次尼崎市教育振興基本計画について
- ウ 令和6年度 尼崎市立図書館事業計画について

### 2 協議事項等の議事録

#### (1) 社会教育施策に係る施策評価について

##### ア 事務局から社会教育施策に関する説明

##### イ 主な質疑応答内容

- (委員) 施策01-03の「歴史遺産の継承と学びの充実」について、小学生については、社会科学習で歴史博物館に行くことが決まっているのか。
- (事務局) AMATAN事業により、小学3年生以上については、年に1回は歴史博物館を訪れることになっている。
- (委員) 学校の保護者から、子どもを連れて歴史博物館に行ってみたいが、機会があまりないという声も聞いていることから、社会科学習で歴史博物館に行けることは大変良いことだと思う。
- (委員) 施策01-04の「スポーツに親しむ機会の充実」について、学校部活動の地域移行を行うということを聞いているが、実現することは可能であるのか。
- (事務局) 文部科学省では、学校部活動の地域移行を行っていくという方針を出しているが、実際には、各自治体の状況に応じて、出来るだけ早く進めるということになっている。
- (事務局) 学校部活動の地域移行について、教員が地域クラブにおける指導に携わりたいということであれば、指導者の確保という課題解決にも繋がることから、地域クラブで指導をしていただくということを考えている。
- (委員) 吹奏楽部についても、地域クラブの移行対象となるのか。
- (事務局) 運動部だけでなく文化部も地域移行の対象となる。
- (委員) 既存の大会はなくなるイメージでよいか。
- (事務局) これまで学校部活動として、高体連や中体連の大会に参加してきたが、今後は、地域クラブとして参加していくことを想定している。
- (委員) これまで、学校単位で大会に参加していたのが、今後は、地域クラブ単位で大会に参加するというようなイメージでよいか。
- (事務局) その通りである。
- (委員) 施策03-03「他者につながる学校園づくり」について、現在、地域学校協働活動事業の活動経費を市からいただいているが、物価の高騰等の影響もあり、地域学校協働活動に必要な物品を十分に購入できないという状況がある。

(事務局) 地域学校協働活動については、学校の物品をうまく活用することも考えられる。

## (2) 第2次尼崎市教育振興基本計画について

### ア 事務局から各論6及び各論7の説明

#### イ 主な質疑応答内容

- (委員) 日本では多様性の社会を進めているが、第2次尼崎市教育振興基本計画では、その点に触れる必要があるのではないか。
- (事務局) 計画の各論2「多様性と包摂性のある教育の推進」の【2-5】共生社会の実現に向けた取組の推進で、多文化共生教育の方向性を今後示していくという記載をしている。
- (委員) 日本と他国における宗教観が全く違うので、気を付けていただければと思う。
- (委員) 各論7「市民の多様な学びと活動を支える機会の充実」の読書活動の推進、乳幼児期における子どもの読書活動の推進について、新生児に絵本を届けるブックスタート事業というのが全国的にあるが、尼崎市では、おすすめブックリストの配布に留まっている。
- (事務局) 尼崎市におけるブックスタート事業については、保健局とも協議する。

## (3) 令和6年度 尼崎市立図書館事業計画について

### ア 事務局から「令和6年度 尼崎市立図書館事業計画について」の説明

#### イ 質疑応答内容

- (委員) 中央図書館は阪神尼崎駅近辺にあり、来館し辛いという声もあることから、図書館側が各生涯学習プラザに出向き、子ども達を対象としたお話し会やイベントの開催を増加させているという状況である。図書館の来館者数を増加させるための方策があればお聞きしたいと思う。
- (委員) 図書館に関する指標として、「市民1人あたりの貸出冊数」が挙げられているが、コロナ禍で落ち込んだ貸出冊数は一定戻ってきている。図書館については、図書館の来館者数も指標の一つになると思うが、図書館ではビブリオバトルなど、様々な事業を実施していることから、その活動を通じて来館者数が増えればよいと考えている。
- (委員) 読書力向上の一環として、全学年によるビブリオバトルを中学校内で開催し、その上位入賞者が、中央図書館でビブリオバトルを披露するという機会をいただいた。
- (委員) ネットでイベントの参加者を募集した場合、参加者本人がその情報を探しに行かないと情報を得ることができない。公式ラインやインスタグラムを活用した情報の発信など、今の人達に合わせた募集をしてみてはどうかと思う。
- (委員) 図書館でも専用フォームによる募集を行った事があるが、すぐに人が集まった。頂いた意見を参考にしながら、検討させていただく。

以上